

化学専攻における教務上の注意事項について

平成 29 年 9 月

教務上の注意

1. 大学院の教務関係の届出や規則

「大学院履修案内」(A4 版白表紙の冊子)に、大学院の教務関係の届出や規則が書いてあるので、各種手続きについて各自よく読んでおくこと。(日本語 P1~P10、英語 P51~P63) ※諸手続(P1)・履修に関する注意(P3-7)・休学の手続き(P8)・海外渡航の手続き(P9-10)

休学や復学等届出様式を理学系研究科 WEB から必要に応じてダウンロードして使用する。

大学院理学系研究科 HP : 各種届出用紙

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/notification-forms-grad.html> (日本語)

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/en/current/notification-forms-grad.html> (英語)

2. 教務関係の連絡事項

随時、以下の方法により周知するので、頻繁に確認すること。

- ・大学院生用掲示板(化学本館 1 階の玄関ホール)
- ・化学専攻 HP (<http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/>)
- ・UTAS (学務システム)
- ・化学事務室から大学アカウントのメールを通じて情報を発信

3. (新入生) 住所登録等

UTAS による住所登録を行い、「大学院用連絡先登録用紙」を記入の上化学事務室(化学本館 1101 号室)宛提出する。
提出締切 **10 月 6 日(金) 正午** 連絡先に変更が生じた場合には、速やかに化学事務室まで申し出る。

4. 平成 29 年度学事日程

「大学院履修案内」表紙裏面「平成 29 年度の授業日程と研究科での学事日程表」(英語 P66~67)を確認する。

5. 博士課程研究遂行制度(博士課程学生のみ)

博士課程在籍者対象に年額 30 万円が支給される制度である。希望者は、化学事務室からの通知を確認し、指導教員に相談した上で、申請書類を化学事務室宛提出する。※学振特別研究員、リーディング大学院奨励金の採用者、社会人特別選抜での入学者は申請できない。

6. 履修登録(UTAS)・シラバス

履修登録手続要確認

★履修登録については、「大学院履修案内」(A4 版白表紙の冊子)(日本語 P2~P7、英語 P52~P59)、「履修上の注意」P36:37、「大学院便覧」理-11 を確認する。

①個人に配布されるパスワードを使用して WEB のシステム UTAS で履修登録をする。

UTAS: <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

②「履修科目控」を指導教員に確認してもらい、右下の余白部分に指導教員の署名と捺印をもらう。

③上記の署名・捺印済みの控を化学事務室まで提出すること。提出締切: **10 月 11 日(水) 正午**

※パスワードの管理には十分注意すること。

※履修登録がない場合にも『履修登録なし』をクリックする。(「履修科目控」提出不要)

※履修登録手続期間以外は、履修登録や登録内容の修正は一切できないので十分注意する。

※住所・連絡先等を変更した場合は、UTAS 上で個人情報修正のうえ、修正内容を化学事務室に申し出ること。

※UTAS では日本語と英語のシラバスを両方確認できる。理学系研究科の他専攻のシラバスは理学系研究科 HP で確認する。大学院便覧の理-21 に今年度の開講科目を記載している。

理学系研究科シラバス

http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/syllabus_graduate.html (日本語)

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/en/current/syllabus/> (英語)

履修上の注意事項

1. 化学専攻の修了に必要な単位数

・修士課程においては、講義 12 単位以上及び「化学特別実験第 1」、「演習第 1」20 単位、計 32 単位以上を修得しなければならない。講義 12 単位以上のうち 6 単位以上は、化学専攻開講科目から修得しなければならない。

・博士課程においては、「化学特別実験第 2」、「演習第 2」計 20 単位を修得しなければならない。

・(新入生) 必修科目は入学時の一番最初の履修登録期間中しか登録できず、それ以降は卒業まで履修登録されないの
で、修士 1 年、博士 1 年必ず入学した時に下記の必修科目を履修登録すること。(入進学時に一度登録すれば毎年履修登録し直す必要はない。) 9 月入学者は、システム上の理由により自動的に登録される。

修士 1 年: 「化学特別実験第一 35606-1001」12 単位、「演習第一 35606-1003」8 単位

博士 1 年: 「化学特別実験第二 35606-1002」8 単位、「演習第二 35606-1004」12 単位

・理学系他専攻は修士課程修了に必要な単位数は 30 単位であるが、化学専攻は 32 単位必要なので十分注意すること。

2. 他専攻、他研究科、学部講義の履修

・他専攻、他研究科、学部の講義も修了に必要な単位として認められる。

・学部講義は、化学専攻では修士・博士課程を通じて教職科目を除く 4 単位までを修了に必要な単位として認定できる。(5 単位以上履修しても問題ないが、修了に必要な単位としては 4 単位までしか認められない。理学系他専攻では 6 単位までを修了に必要な単位として認めているが、化学専攻では 4 単位までなので注意すること。)

・化学専攻以外の大学院講義、学部講義のほとんどは、日本語で開講されているので、注意すること。

3. 研究倫理

・「化学特別実験第 1」「演習第 1」「化学特別実験第 2」「演習第 2」は理学部科目「研究倫理」の修得を前提として単位が認められるため、それまでの課程で未履修の場合には必ず履修しなければならない。ただし、「研究倫理」は修士課程修了に要する講義 12 単位には含まれない。

・学部と大学院通じて 1 回だけ修得すればよいので、昨年度「研究倫理 I」を取得済みの学生は改めて修得し直す必要はない。昨年度まで在学し「研究倫理 I」単位未取得者および今年度入学者は、理学部科目「研究倫理(0530801)」を履修登録する。開講日程の詳細は決まり次第周知する。

4. 科学英語演習 I/II (化学)

・修士 1 年生は特別な事情がない限り、履修すること。

・I を S セメスターに、II を A セメスターにそれぞれ開講しており、通年で履修することを推奨する。

・通常 4 月から始まるため、9 月入学者については、次年度 4 月から始まる講義を履修すること。

・開講前にクラス分けテスト (Placement Test) を行い、レベルに応じたクラス毎に開講する。

・修了に必要な単位に含まれないので、注意すること。(←「大学院履修案内」P13)

5. 基礎科目の履修

毎年Sセメスターに開講している、「物理化学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「有機化学基礎Ⅰ・Ⅱ」、「無機分析化学Ⅰ・Ⅱ基礎」の基礎科目は、なるべく履修すること。

時間割表には、1つの曜限に1つの科目しか履修登録されません。Sセメスター後半に開講される科目(物理化学基礎Ⅱ 35606-0048、有機化学基礎Ⅱ 35606-0055、無機・分析化学基礎Ⅱ 35606-0053)は、「集中講義を登録」から登録してください。

6. 先端レーザー科学教育研究コンソーシアム(CORALプログラム)

・「先端光科学講義Ⅰ・Ⅱ」「先端光科学実験実習Ⅰ・Ⅱ」を開講している。(ⅠはSセメスターに、ⅡはAセメスターに開講)

・化学専攻の修了に必要な単位として認定される。

・履修を希望する場合には、CORALのwebサイト(<http://www.cuils.org/coral-ut/index.html>)を確認すること。履修希望者は直接CORALのWEBサイトから問い合わせ、10月2日(月)10:25～に5階講堂にて開催されるガイダンスに必ず出席すること。

・平成27年4月以降の入学者(化学専攻学生のみ)については、以下のとおり気を付けること。

・「先端光科学講義Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)を単独で履修できず、同一年度に「先端光科学実験実習Ⅰ・Ⅱ」を同時に履修する場合のみ履修できる。「先端光科学実験実習Ⅰ・Ⅱ」(1単位)を単独で履修はできる。

注)「先端光科学講義Ⅰ」は、「先端光科学実験実習Ⅰ」を同時に履修した場合にのみ合計3単位として認める。

・「先端光科学講義Ⅱ」は、「先端光科学実験実習Ⅱ」を同時に履修した場合にのみ合計3単位として認める。

7. 理工連携科目

「大学院便覧」理-21に理工連携講義と記載している科目は工学系研究科との連携講義。理工連携科目のうち工学系研究科で開講している科目(科目番号35606-0088～35606-0098)は修了に必要な単位として認める化学専攻開講科目6単位には含まれない。

8. 化学専攻開講科目の日本語開講

化学専攻開講科目は基本的に英語で開講するが、以下の科目は日本語で開講する。

・理工連携科目のうち、工学系開講科目(履修案内P36～38の時間割表で**印の科目)

・先端科学技術特論Ⅰ/Ⅱ

・先端光科学講義Ⅰ/Ⅱ、先端光科学実験実習Ⅰ/Ⅱ

9. 集中講義

履修登録期間外は、集中講義前日まで学務課大学院担当(理学部1号館)で申込みする。日程が決まり次第掲示、HPで周知する。

10. 開講日

化学専攻開講科目の開講日、理工連携科目の開講日は配布資料を確認する。日程が未定の科目については決定次第、周知する。

東京大学大学院理学系研究科化学専攻事務室(化学本館1階1101号室)
Department Chemistry, Graduate School of Science, The University of Tokyo
(Rm1101 Chemistry Main Building)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 (7-3-1Hongo, Bunkyo-ku Tokyo)
E-mail: kagaku@chem.s.u-tokyo.ac.jp Tel: 03-5841-4321 Fax: 03-5841-8324